

(お知らせ)

平成30年9月6日
防 衛 省

北海道胆振地方中東部を震源とする地震に係る災害派遣について
(09時00分現在)

※数値等は速報値であり、今後変わることがある。

※下線部は、前回報告からの変更箇所

1. 災害派遣の概要

<u>(1) 要 請 日 時</u>	<u>平成30年9月6日 (木) 06時00分</u>
<u>(2) 要 請 元</u>	<u>北海道知事</u>
<u>(3) 要 請 先</u>	<u>陸上自衛隊第7師団長 (東千歳)</u>
<u>(4) 要請の概要</u>	<u>人命救助及び給水支援</u>
<u>(5) 発 生 場 所</u>	<u>北海道</u>

2. 災害派遣までの経緯

平成30年9月6日 (木) 03時08分頃、北海道胆振地方中東部を震源とする地震 (マグニチュード6.7:暫定値) が発生し、胆振地方中東部で最大震度6強を観測した。

6日 (木) 06時00分、北海道知事から陸上自衛隊第7師団長に対して、人命救助及び給水支援に係る災害派遣要請があった。

2. 防衛省・自衛隊の対応

(1) 活動部隊	陸 自	<u>北部方面航空隊 (丘珠)、第7飛行隊 (丘珠)、第11飛行隊 (丘珠)、第7特科連隊 (東千歳)、第72戦車連隊 (北恵庭)、第73戦車連隊 (南恵庭)、第71戦車連隊 (北千歳)、第7施設大隊 (東千歳)</u>
	海 自	<u>第25航空隊 (むつ)、第2航空群 (八戸)</u>
	空 自	<u>第3航空団 (三沢)、千歳救難隊 (千歳)、警戒航空隊 (三沢)</u>
(2) 活動規模	人 員	<u>約4,000名 (今後約25,000名規模まで増派予定)</u>
	車 両	<u>確認中</u>
	艦 船	<u>2隻</u>
	航空機	<u>20機</u>

(3) 主な対応状況

【6日 (木)】

03時09分 防衛省災害対策室設置

03時11分 防衛大臣の指示

1 関係府省庁及び自治体と緊密に連携し、情報収集に努めること。

2 被害が発生した場合に備え、万全な準備態勢を確立すること。

3 今後の状況の推移に的確に対応し、災害対応に万全を期すこと。

03時25分 第3航空団のF-2×2機が基地を離陸。

03時39分 北部方面総監部のLO (人員2名、車両1両) が北海道庁に向け駐屯地を出発。

- 03時40分 第7飛行隊のUH-1×1機が情報収集のため駐屯地を離陸。
第73戦車連隊のFAST-Force（人員約35名、車両約5両）が苫小牧市
に向け駐屯地を出発。
- 03時42分 北部方面航空隊のUH-1×1機（映像伝送機）が情報収集のため駐屯
地を離陸。
- 03時47分 第7飛行隊のOH-1×1機、UH-1×1機が情報収集のため駐屯地
を離陸。
- 03時49分 第25航空隊のSH-60×1機が情報収集のため基地を離陸。
- 03時56分 第2航空群のP-3C×1機が情報収集のため基地を離陸。
- 04時06分 第7特科連隊のFAST-Force（人員約25名、車両4両）が厚真町に向け
駐屯地を出発。
- 04時16分 千歳救難隊のUH-60×1機が情報収集のため基地を離陸。
- 04時33分 北部方面航空隊のUH-1×1機（映像伝送機）が情報収集のため駐屯
地を離陸。
- 04時40分 第73戦車連隊のFAST-Force（人員約35名、車両約5両）が苫小牧に
向け駐屯地を出発。
- 04時42分 第11飛行隊のUH-1×1機が情報収集のため駐屯地を離陸。
- 04時45分 警戒航空隊のE-2C×1機が情報収集のため基地を離陸。
- 05時30分 第71戦車連隊のFAST-Force（人員約25名、車両約5両）が白老に向
け駐屯地を出発。
- 06時00分 北海道府知事から第7師団長に対して、人命救助及び給水支援に係る**災
害派遣要請**。
- 07時00分以降 第72戦車連隊、第7特科連隊、第7施設大隊等の主力部隊（人員
約780名、車両確認中）が厚真町に向け駐屯地を出発。
- 07時52分 千歳救難隊救難員が安平から5名を厚真中へ搬送

○ LO派遣先

北海道庁、千歳市役所、白老町役場、安平町役場、むかわ町役場、日高町役場、胆振振
興局、日高振興局、長沼町役場、八雲町役場、苫小牧市役所、函館市役所、当別町役場
、厚真町役場